

## 平成20年度 体育部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》  「運動の特性を生かし、心と体を一体としてとらえ、個に応じた体育授業はどうあるべきか」  ～新体力テストの分析結果を生かし、安全で楽しさや喜びを味わわせる体育授業はどうあるべきか～</p>
--

第 一 回	日時	平成20年6月4日 13:40 ～ 16:30
	会場	南丹市立殿田小学校
	研究の概要	授業研究会 研究協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究会 第4学年 陸上運動「走の運動」</li> <li>・ 研究協議 公開授業を中心とした研究協議 研究テーマに基づく研究協議</li> <li>・ 研究班別協議 各部における研究活動</li> <li>・ その他</li> </ul>
第 二 回	日時	平成20年8月6日 9:00 ～ 12:30
	会場	南丹市立殿田小学校
	研究の概要	体育実技伝達講習会（9:00～11:30） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師（和知小学校）</li> <li>・ 講師の挨拶及び内容説明</li> <li>・ 体育実技伝達講習会</li> <li>・ まとめ</li> </ul> 各研究班別協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回に向けて授業研究会の内容についての検討</li> <li>・ 新体力テストの分析結果についての検討</li> </ul> その他
第 三 回	日時	平成20年11月26日 13:40 ～ 16:30
	会場	南丹市立摩気小学校
	研究の概要	授業研究会 研究協議 本年度のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業研究会 第4学年 基本の運動「走の運動」</li> <li>・ 研究協議 公開授業を中心とした研究協議 研究テーマに基づく研究協議</li> <li>・ 研究班別協議 各部における研究活動（本年度のまとめ）</li> <li>・ その他</li> </ul>

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>(1)成果 『授業研究』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「走の運動」に関わる指導法について協議した。授業研究では、うでの使い方や体のぶれを意識させるための走り方などの工夫が示され、今後の授業に生かされるものであった。</li> <li>・ 夏に行われた体育実技伝達講習では、教師自身が伝達された様々な運動を行うことで、児童に指導する際の具体的なヒントを見つけることができた。</li> <li>・ 公開授業の事前研究の場を設定してもらえたのでよかった。</li> </ul> <p>『新体力テスト分析』、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各校でTスコアによる体力テストの分析を行うことにより、集計作業がスムーズに行われ、全体の分析がはやくできた。それにより、基礎体力向上のために集計結果をもとにして、1つの種目に絞り込んで取組を進め、検討することができた。</li> <li>・ 体力テストの各種目について、基礎体力をつけるための分析をし、基礎体力の低下している部分の原因の仮説を立て、指導方法や取組について話し合えた。</li> </ul> <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで積み上げてきた指導方法などは話し合うことはできたが、教具などを持ち寄って共有できるとよいのではないか。</li> <li>・ 基礎体力を高めるためには、やはり体育の授業や特定の指導だけでは伸びないということ、また発達段階にもよるが、普段の生活の様子や指導、児童自身の運動に対する取り組み方なども大きく関わってくるということについてさらに指導方法の工夫が必要である。</li> </ul>
<p>来年度への研究課題</p>	<p>『授業研究』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個に応じた指導や場の設定を考えた授業づくりを研究していきたい。</li> <li>・ 指導と評価の関連などについての研究のする場があってもよいのではないか。</li> <li>・ 各校、各先生方の指導の工夫や教具（ワークシート等）などを、持ちよって共有することができればよい。</li> </ul> <p>『新体力テスト』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半年ほどの取組では、明らかな成果が出にくい。取組の継続が必要である。</li> <li>・ 種目や学年を絞り込んで取り組んでみてはどうか。</li> <li>・ 簡単に体育の指導だけでは伸びていかないが、今年度の結果として、伸びている部分もある。来年度は、今年度の取組をより深く検証して、学校での取組で可能なこと、実施するのに効果的な学年、種目などをよりはっきりとさせていく必要がある。</li> <li>・ 何か一つでも基礎体力の向上を図るための方策を明らかにするべきである。</li> </ul>
<p>その他の研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府小学校教育研究会体育実技研修会 期日 平成20年7月31日（木）・8月1日（金） 舞鶴市立明倫小他 会場 基本の運動・ボール運動・陸上運動・体づくり運動の4領域に参加</li> <li>・ 京都府小学校教育研究会 体育科研究発表会 期日 平成20年10月24日（金） 会場 亀岡市立安詳小学校</li> </ul>